

令和7年度 第4回 上島小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月9日（月） 14時00分から16時00分
- 2 開催場所 上島小学校 会議室
- 3 出席委員 加藤 憲司、青木 榮治、山本 暢子、森園 大介、有賀 愛、
松本 貴聖、山崎 真弓
- 4 欠席委員 大橋 薫、白澤 かおる
- 5 学 校 岩崎 光宏（校長）、竹田 良子（教頭）、
高島 美保（主幹教諭）、高橋 靖人（担当）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CS ディレクター 清水 遥

8 議長の選出

司会から、議長の選出について前回の協議会にて皆様のご意見をいただき、加藤会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

現在の児童の実態と今後の上島小の在り方について

- （1）令和7年度学校関係者評価、及び次年度への改善策について
- （2）令和8年度の学校運営基本方針（案）
- （3）令和7年度学校運営協議会委員の自己評価
- （4）令和7年度「夢育やらまいか事業」について

10 会議記録

司会から、委員総数9人の内7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

議長の指示により、主幹から「現在の児童の実態と今後の上島小の在り方について」学校公開、前期学校評価、全国学力・学習状況調査について説明があり、委員から以下の発言があった。

《令和7年度学校関係者評価、及び次年度への改善策について》

- ・子どもと保護者の間のいじめに関する内容に開きがあるが PTA としてはどう思うか。
(加藤委員)
- ・いじめがあるということが分かっていないので、学校がどういう対策をしてくれているか分からない。保護者の「いじめ」に対する考えと、学校で考える「いじめ」に差がある。人間関係を学ぶ上で必要なこともある。学校評価アンケート内の「いじめは、

どんな理由があってもいけないことだと思う。」という項目で2%の児童がそう思わないと答えているが、それは何か。 (松本委員)

→大きなトラブルは起きていない。今の子どもたちは敏感。気持ち強い児童もいれば、折れやすい児童もいる。学校を休んでしまう子もおり、丁寧に指導をしていく必要を感じている。 (教頭)

・学校を休んでいる子もアンケートに答えているのか。 (加藤委員)

→登校した時に入力してもらっている。 (主幹)

・学校評価アンケート内の「子どもたちは、学習や行事を通して、自分が「できるようになったこと」や「分かったこと」に気付いている。」等の項目で微増しているため、学校が取り組んできたことが形となって表れている。「子どもたちは、楽しく学校に通っている。」も96%で、子どもが良さを感じている。 (森園委員)

・家でスマホを長時間見ることができるが、学校での規制はないのか。 (加藤委員)

→メディアコントロール等の講座は開いているが、学校から規制することはない。体に悪い、目に悪いということや危険は伝えるが、それを取り入れるかどうかは家庭、本人次第。夜、保護者の目を盗んで夜中に使っている児童もいる。 (教頭)

・学校ではスマホに触る時間が限られているので、良いなと感じる。 (加藤委員)

・不登校支援をしているが、どの学校、学級にも不登校児がいると思っている。働いている保護者もいるので、子どもに掛かり切りというわけにはいかない。そのため、昼間は親がいない状況でスマホをいじっている子どもが多いことも事実。不登校になる原因はそれぞれで、子どもの特性、集団が苦手、家庭環境、勉強についていけない、担任の先生との相性など、いろいろある。親も分からない、子どもも分からないことが多い。学年が変わり、友達が出来たことで復学できる場合もある。 (有賀委員)

《令和8年度の学校運営基本方針(案)》

・縦割り活動が減ってきたとあったが、異学年交流と記載されている。6年生が1年生を世話したことから、その後も覚えていることが多い。その他、何かあるか。

(有賀委員)

→4年生以上はクラブ活動。児童会活動として、1年生を迎える会、6年生を送る会を実施。その他、委員会を中心とし、ミニイベントも実施している。1年生と6年生ではペアを組んで学校に慣れるためのサポートや掃除等を行っている。 (高橋)

・縦割り活動が減った理由は何故か。 (加藤委員)

→年間を通して感染症の影響で子どもたちを交流させられない状況ができたり、特日課により清掃時間や休み時間を削減したりした関係で実施回数が減少した。 (高橋)

・高学年と低学年のかかわりについて、自己肯定感の主体性について上島小は力を入れていると思うが、誰もが主体的にやれるわけではない。出来ない子もいる。自己有用感が持てない児童は下の学年の子を見ることで得られるかもしれない。保護者の評価

を上げたいという点で以前「親の求めるところまで子どもが達成していない」と意見を言っていたが、先日の学校公開日で子どもを見たときに成長を感じた。掲示物、絵などからも成長や様子を見ることが出来て良かった。学校公開日は続けてほしい。情報発信もそうだが、受け手の保護者が変わっていかないといけないと感じる。校長先生の言葉を全保護者に聞いてもらいたい。（森園委員）

- ・ 2月3日の参観会に参加した。1～3年生を参観し、学年が上がるごとに声も発表も態度も成長している。1年生のクラスで授業の終わりに子どもたちが発表したり、感想を言ったりしていた。どのクラスも感想や質問、発表をする時間を作ったら良いのではないかと。先生が褒めて返してあげることが必要。保護者にも感想を聞いたかどうか。カードに書いて返してもらうなどの手立てがあると良いと思う。（山本委員）
 - ・ 学校公開日は良かった。今は中に入って見ることが出来るのが良い。ただ、保護者が来られない児童の気持ちを考えた。（加藤委員）
 - ・ 発表会の感想を保護者に書いてもらうとフィードバックできるのでは。自己肯定感、自己有用感や学校の先生が声掛けをしてくれていると思うが、保護者にもそのような機会があると良い。（森園委員）
 - ・ 「かかわる子」について、保護者が自分の子以外とかかわれると良い。2～5時間目の学校公開では給食は見るだけで保護者は食べることは出来ないのか。保護者の体験が増えると良い。（松本委員）
- 日常的に保護者や地域の方が学校に来てくれることが理想。いろいろな場面で入って来てもらえると良い。最後の参観では、子守り隊にも声をかけ呼びかけた。運動会・ミシン・図書などのボランティアを募集した。（教頭）

令和8年度の学校運営の基本方針（案）について拍手多数で承認された。

《令和7年度「夢育やらまいか事業」について》

- ・ 教頭より、活動報告があった。

その他報告事項等

- ・ 学校支援コーディネーターより、以下の活動報告があった。
 - 例年継続しておこなってきたクラブ活動や裁縫などの授業支援にプラスして夏場の花壇ボランティア、地域探検見守りボランティアの活動がある。地域のコーディネーターが取りまとめるべきだが、上島小のさくら連絡網を活用している。
 - 民生委員との協力で、様々なことが出来るようになってきた。
 - 講師の方へ子どもたちが書いた感想の手紙を届けたところ、大変喜ばれていた。地域とのつながりが深まった。

- ・ 司会から、来年度、第1回学校運営協議会は、令和8年4月17日（金）に開催予定と報告があった。